

計画的な改植に向け白紋羽病対策を学ぶ

～東葛飾梨研究同志会が研修会を開催～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和3年7月13日発

東葛飾地域では、梨の老木対策として改植が進められていますが、白紋羽病の発生による生育不良や枯死が問題となっています。そこで管内の農業士・指導農業士で組織する東葛飾梨研究同志会では、白紋羽病対策をテーマにした研修会を6月25日に船橋市で開催しました。今回は、会員だけでなく管内の梨生産者にも広く呼び掛けたところ、55名の参加がありました。

農林総合研究センター高橋研究員による白紋羽病の診断法や、微生物資材を用いた防除体系の説明に、参加者は真剣に聞き入っていました。また、熱に弱いという白紋羽病菌の特性を利用した温水点滴処理の実演では、機械の費用や処理時間などについて質問が多く出され、とても有意義な研修会となりました。今後も農業事務所では、東葛飾梨研究同志会の活動支援とともに、計画的な改植を推進していきます。



高橋研究員の説明に聞き入る参加者



温水点滴処理の実演